

## ■ リーフレットの内容の解説

### ●表 紙

ネットは現代社会において欠かせないものであり、有効な活用方法について誰もが学んでいかなければなりません。しかしながら、同時に危険性もあることも事実ですので、それも併せて認識し、上手に活用していく必要があります。子どもは興味本意で始め、のめり込むうちに誤った方向に向かっていく可能性がありますので、大人が正しい方向に導いていくことが大切です。そのためには、大人がネットを取り巻く環境や問題点について理解した上で、子どもの年齢や環境等を考慮して、今、買い与えることが本当に必要かどうかをまず考えなくてはなりません。また、買い与えた後は、使用方法について子ども任せにするのではなく、特に未成年については保護者の責任において必要に応じてルールをつくり、正しい活用の仕方を教えることが大切です。

#### ※ネット社会の特徴

ネット社会の特徴として、次のことが挙げられます。

##### ①非匿名性

ネットの世界は匿名性が高いと思われがちですが、実は現実社会以上に追跡性が高く、発信源を特定する事が可能です。どうせ投稿した主は誰だかわからない、名前や住所など、身元が判明することはないと思って人の悪口や不快な画像を安易に投稿すると、それに過剰に反応し、周囲から探し出されて住所や名前、顔写真等をネット上に公開される場合があります。それによって周りから攻撃を受け、いじめに会ったり犯罪やトラブルに巻き込まれたりする可能性もあります。

書き込みや、画像の投稿などの情報発信には、常に責任が伴うことを認識し、安易に個人を特定して攻撃したり、周りをおおるような投稿を行うことのないよう情報モラルを身につけることが大切です。

##### ②非対面性

ネット上においては、相手と直接会わずにコミュニケーションを図ることが出来ます。そのため、会いに行く時間が省けたり、またメール等のやり取りは相手がどのような状況であっても送信でき、都合の良いときに読んでもらうことができるという利点があります。しかしながら、文章だけのやりとりでは相手の表情を読み取ることができず、言葉のイントネーションによる伝言（例えば疑問文か肯定文かなど）ができないため、真意がうまく伝わらず誤解を生じることがあります。

また、最近では「なりすまし」により故意に相手を騙し、自分の思うままに陥れようとするケースがあります。文面のみで相手を信じ込み、犯罪に巻き込まれる事件が後を絶ちません。

##### ③広域性・拡散性

ネット上に情報が流れることは、一瞬にして全世界に情報が広がるということです。広報活動など、広く一般にお知らせするためには非常に有効な活用手段である反面、知られたくない情報も多くの人に伝わるといった危険性もあります。また、一度情報が拡散すると、それをコピーしたものが広まる可能性がありますので、発信元を削除しただけではその広がりを完全に抑えることができず、また古い履歴としてデータが残っ

てしまい、半永久的に存在する可能性があります。そのため、自分の意図することなく、何かのきっかけで時を経て再度情報が拡散することがあります。

特に今、交際がうまくいかなかった腹いせや復習として、交際中に撮った写真や画像をネット上に掲載し、相手の人権を侵害するいわゆるリベンジポルノも多く発生しています。不快な情報がさらされ、いつまでもそれが残るという不安と恐怖心が常につきまといまいます。

利便性と危険性を認識し、投稿する際にはその後どのような影響を与えるのかを想定して投稿することが大切です。

## ●内側の左側2面及び右側2面

【こんな子どもの姿を見かけませんか？】

それぞれの事象については、次のとおりです。

### A. ネットにはつながらないはずだけど？

左側のイラストは、コンビニやファーストフード店、公共施設等にある Wi-Fi スポットで無線LANを利用してネットに接続してゲームをしている様子を表しています。

右側のイラストは、音楽プレーヤーやゲーム機を買ってもらった子どもが、ネットにつなげてゲームをしている様子を表しています。

### B. こんなに長い時間、何に熱中しているのかな？

左上のイラストは、スマホやゲーム機等でオンラインゲームに長時間熱中している様子を表しています。

中央右のイラストは、You Tube などの動画を見続けている様子です。

### C. どうしてずっとスマホを手放せないのかな？

右上のイラストは、友達から徹夜でゲームに誘われている様子です。本人は寝たいけど、仲間はずれになるのが嫌で断ることができずに困っている状態です。

中央左のイラストは、LINE 等の返事をしないといけないために、勉強中でもスマホを手放せない様子です。

右下のイラストは、LINE 等の返事が遅いので、グループから外された様子です。外された本人は、なぜ外されたのかわからずに戸惑っています。

### D. 最近元気ないけど、友達と何かあったのかな？

上のイラストは、「もう、いいよ。」の一言が送信者の意図と違う意味に受けとめられて、誤解が生じている様子です。短文でのやりとりは会話と異なり誤解をまねく恐れがあります。

中央左のイラストは、上記のような誤解により、友達の悪口を他の人に送っている様子です。悪口を書かれた子どもがいじめにあう可能性があります。

右下のイラストは、上の状態がエスカレートし、いやがらせにより変な画像が送られてきた様子です。ちょっとした誤解からいじめに発展していきます。

### E. 個人情報を守られているはずだけど？

上のイラストは、何気なく知り合いの情報をネット上に掲載している様子です。本人に悪意はなくても、個人情報に掲載することにより様々な影響が生じます。

下のイラストは、自分の意志に関係なく個人情報を掲載されたことにより、住所等が特定されている様子です。誹謗中傷の対象とされたり、犯罪に巻き込まれる恐れもあります。また、一度流出した情報は次々と複製を繰り返して拡散され、削除することが困難になります。

#### F. 危ないことになっていないかな？

左上のイラストは、ゲームに夢中になって課金されている様子です。無料といってもキャラクターやアイテムを追加する場合は有料となることがあります。

中央右のイラストは、無料と思われるサイトにアクセスして、知らないうちに有料サイトにつながるケースです。なかには外国語で表示されているサイトもあり、意味がわからずに「YES」を押して高額な請求が生じる場合もあります。

下のイラストは、なりすましによるやりとりを示しています。スマホ等の画面上では相手の年齢や性別を確認することが出来ないため、女子高生になりすました男性が言葉巧みに相手を誘い、実際に会った結果、犯罪被害につながる場合があります。

【～今、子どもにこんなことが起きています。(左面の解説)～】

上記の【こんな子どもの姿を見かけませんか？】のAからFについて、それぞれの事象を解説しています。また、用語の解説も掲載していますので、参考にしてください。

### ●保護者・大人の責任として

#### ①購入する前に考えましょう

そもそも、携帯電話やスマホなど、個人個人が持つ機器が、今、本当に自分の子どもに必要なのでしょうか。情報収集だけであれば、ネットにつながるパソコンを保護者と一緒に利用することも可能ですので、年齢的にまだ必要でないと感じられるようであれば、今はまだ購入する時期ではないかもしれません。必要な時期かどうか、あるいは発達段階に応じてどのような機器が適当なのかを子どもと一緒に考えましょう。子どもの希望に応じてすぐ購入するのではなく、購入後の危険性をよく理解したうえで、子どもと話し合い、お互い納得した上で購入することが大切です。また、使い方についてもしっかり話し合い、ルールを決めた上でそれを守らせることを教えていくことが重要です。

#### ②購入する時に気をつけましょう

購入する時には、必ずフィルタリングを設定しましょう。以前はLINE等の無料通信アプリができないからといってフィルタリングの設定をいやがる場合がありましたが、現在はフィルタリングをしてもLINE等ができるようになっています。フィルタリングを解除した場合、有害サイトや出会い系サイトなどを利用して、犯罪被害に会う恐れもあります。一部の通信機能を保持しながら、有害サイト等への接続を遮断することもできますので、フィルタリングの設定を全くしないことのないよう気をつけてください。なお、携帯電話会社のフィルタリングだけでなく、使用方法によ

っては無線LAN回線やアプリ用のフィルタリングの設定が必要な場合があります。ゲーム機や携帯音楽プレーヤー等もネットにつながる機種がありますので、用途に応じたフィルタリングを設定するよう、携帯電話会社や販売店等に御相談ください。

### ③購入した後も、子どもがすることに関心を持ちましょう

購入した後も、子どもに全て任せるのではなく、大人が常に見守っていく必要があります。今のネット社会は急速に進化しています。自分にはわからないからといって諦めるのではなく、子どもに教えてもらうこともコミュニケーションを図るきっかけとなります。ネットによるいじめは表面に出にくく、知らないうちに深刻な状況になり、保護者や友達にも相談できず思い詰めてしまうケースもあります。普段から会話をすることで、いつでも話かけられる状況を作っておけば、そのような状態を防ぐこともできますので、風通しのよい環境を大人から作るようにしましょう。部活動やクラブ活動など、体を動かしたり、あるいは読書や他の趣味を見つけてスマホやゲーム意外に熱中できるものを一緒に見つけることも必要です。子どもと一緒に過ごす時間を確保することも大切ではないでしょうか。

## ●裏面

### ①保護者の皆さんへ

子どもが適切な使い方を身に付けるためには、保護者がまずそれを身に付けなければなりません。難しいからといって敬遠するのではなく、子どもと一緒に学んでいくことも必要です。また、ネットの社会においても、現実社会においても、ルールやマナーを守ることは重要です。ネット上であれば人を傷つけてもよいということはありませんので、他人を思いやる心や自制心を常に持つよう、保護者自身が手本になることが大切です。

### ②地域の皆さんへ

学校や家庭とともに、子どもが健やかに生き生きと暮らす環境を整えるためには、地域の皆さんの力が必要不可欠です。核家族が増える中、地域とのコミュニケーションが減り、同時に子ども達の活動する場所が少なくなっているとよくいわれていますが、そのような環境の中、出会いや活動の場を求めてネットの世界に入り込み、現実社会から逃避する若者も増えています。そのため、社会を生き抜く力が養われず、どう現実社会と接していいのかわからないまま大人になっていく場合もあります。子ども達に正しい道筋を示していくのも大人の役割です。地域の皆さんと接することによって、現実の居場所を見つけることができるかもしれません。例えば、登下校時の挨拶をかわすことによってコミュニケーションを図ることから始めてみてください。

## ■岡山県の取組について

岡山県教育委員会は、スマホ・ゲームの夜間使用制限について、平成26年11月から次の3つの取組を進めています。

○保護者が午後9時以降はスマホを預かりましょう。

○ゲームも午後9時までとしましょう。

○学校でスマホなどについて考える場を設けましょう。

本県の児童生徒のゲームの時間が増加し続けており、特に中学生では4人に1人が平日3時間以上テレビゲームをしている状況です。また、近年、ネット上のいじめや犯罪被害につながるケースもおこっています。

そこで、岡山県教育委員会では、PTAや学校、市町村教育委員会、校長会等と連携した取組を進めていきます。

家庭や学校で、ぜひ

- ① 子どもと保護者がスマートフォンやゲームの時間や使用等について話し合い、ルールをつくりましょう。
- ② 学級や生徒会などで、スマートフォンなどの使用について考えたり話し合う活動を行いましょう。